

今日は来年の因縁の動きについてお話をさせて頂きたいと思
 います。動きが相当早く来てるので、年末のこの納めのご供養会でお
 話をいたします。

来年は「辰年」です。私の感じてる部分で、来年は「地面」が動
 きます。地震もあるでしょうけれども、自分自身の「足元をさらわ
 れる・動かされる」という意味があります。

私たちはしっかりと足を地面につけて、立っていなければいけ
 ません。しかし、自分で立とうと思っても立てなくなるようなこと
 が、皆さん自身に起きる可能性があります。

それも相当早くからです。本来は2月3日の節分以降から徐々
 にその年の因縁が出てくるのですが、来年はおそらく1月1日ご
 ろから出ます。また、もうすでに出ている部分もあります。

具体的に何が起こるかと言いますと、病気が完治したと思っ
 たら、“パン”と足元を取られてひっくり返ってしまい、また病気が再
 発する、というようなことです。お金の因縁にしても、借金を返し
 終わったのに、また借金してしまうとか、貯蓄や株などで貯めてた
 ものに、何かが起きてなくなってしまう。人間関係も、やっと皆な
 が落ち着いて円満になったと思っていたところに、突然何かが起
 きて、また前のようなことが起きる。そのような可能性があるとい
 うことです。そして、今まで20年~30年と積み上げて来たもの
 が、一気に、一瞬のうちに元に戻ってしまうという因縁が来年ある
 のです。これは本当に怖いことです。

要は、来年の因縁というのは、今までのものがゼロになるという
 ことです。

今日は皆さんが聞きたくないような話をしましたが、用心に越したことはありません。事前にこうして私が警報を鳴らし、聞いておいてもらうことが皆さんのためになるので、私はあえてこういう話をいたしました。

来年は安心しないことです。「好事魔多し」これは良い時には魔が来るという意味です。絶対気をつけた方が良いです。浮かれないこと。調子に乗らないことです。今からそういう姿勢を持って暮らして頂ければ大丈夫です。ですが、来年そういう年に限っていい話があるのです。そして、調子づいてそれに手を出すと怖いのです。空回りする可能性もあるということを忘れないでください。

では、そうならないためにはどうすれば良いかということですが、皆さんの足元をしっかりとすれば良いのです。それをしてないと倒れてしまいます。皆さんの軸を地面に入れるのです。そうすることで、どんな魔が来てこうしようとしても、どんなことが起きても、倒れることはありません。ここが一番大切なことです。

そのためには、妙智會の教えをしっかりとやることです。会主さまは「妙智の教えをやっていれば、絶対に動かない」とおっしゃったのです。ぜひ妙智の教え、会主さまの教えをしっかりとやって、皆さん自身が持っているこの大きな心の柱を、自分の地面の中に突き刺してください。奥の奥に入れてください。そうすれば、今日私が申し上げたようなことがあっても、皆さんは絶対大丈夫です。

今日は解決方法も言いましたので、来年は何があってもびくともしないようになりましょうね。これで今年最後の供養会でのお話といたします。ありがとうございました。